

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2005-192955(P2005-192955A)

【公開日】平成17年7月21日(2005.7.21)

【年通号数】公開・登録公報2005-028

【出願番号】特願2004-27385(P2004-27385)

【国際特許分類】

A 6 1 G 5/02 (2006.01)

A 6 1 G 5/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 5/02 5 0 9

A 6 1 G 5/00 5 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月25日(2006.12.25)

【手続補正1】

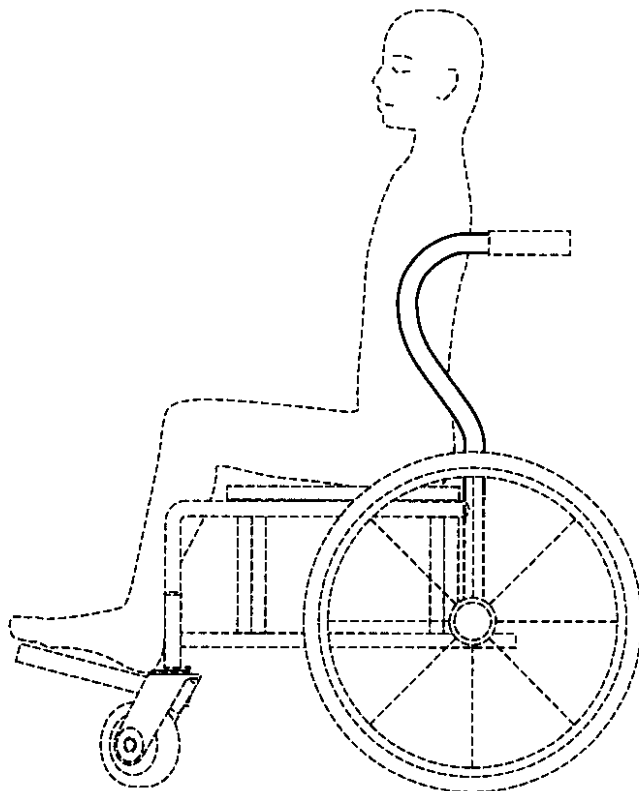
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図3

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図3】



【手続補正2】

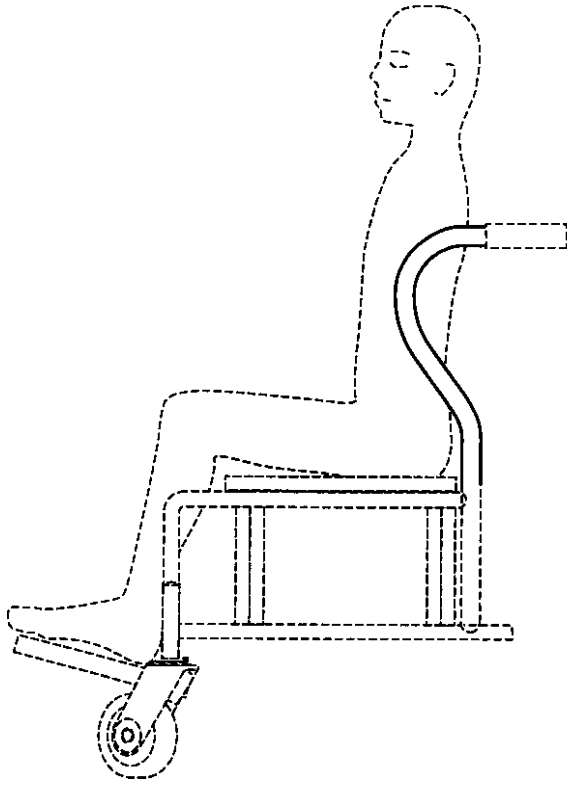
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図4

【補正方法】追加

【補正の内容】

【図 4】



【手続補正 3】

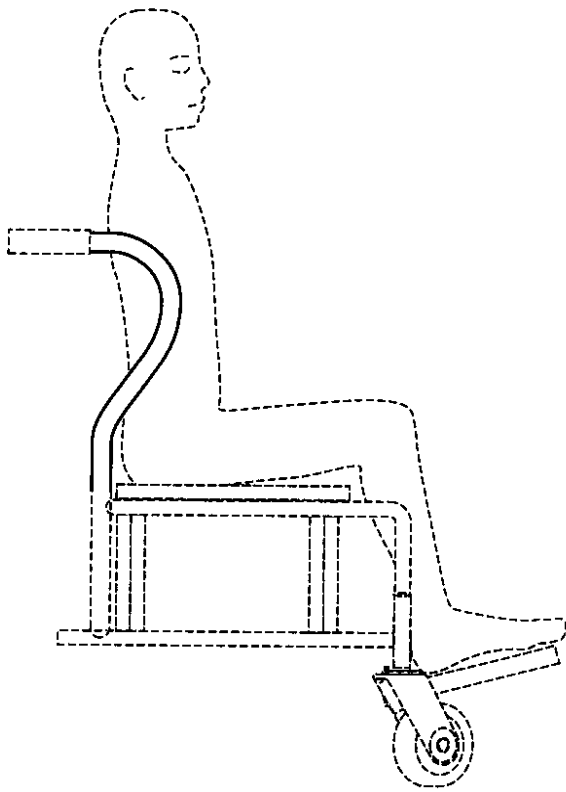
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 5

【補正方法】追加

【補正の内容】

【 図 5 】



【 手続補正 4 】

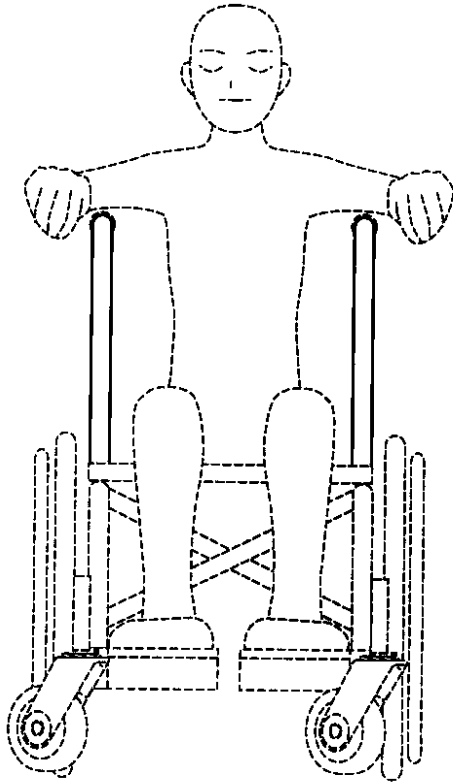
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 6

【 補正方法 】 追加

【 補正の内容 】

【 図 6 】



【 手続補正 5 】

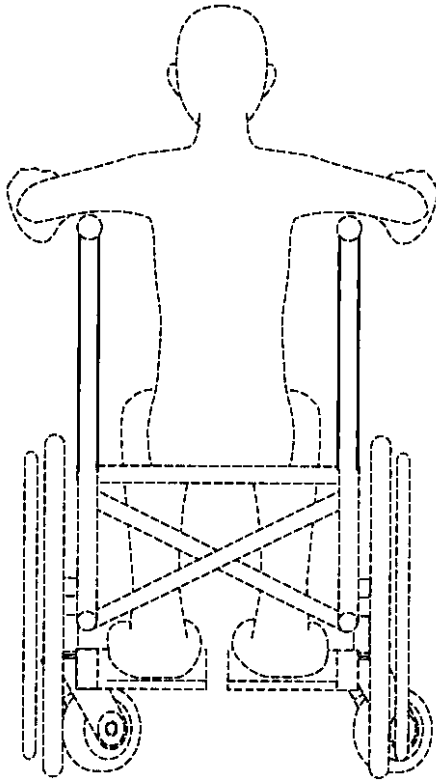
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 7

【 補正方法 】 追加

【 補正の内容 】

【 図 7 】



【 手続補正 6 】

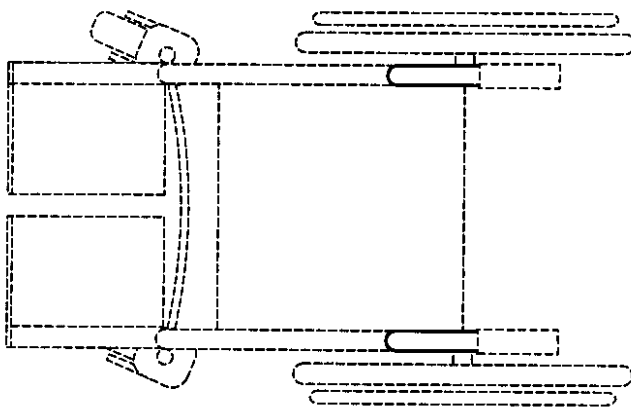
【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 8

【 補正方法 】 追加

【 補正の内容 】

【 図 8 】



【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 9

【 補正方法 】 追加

【 補正の内容 】

【図 9】



【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

姿勢の保持をより安定化させることによって、今まで体幹の保持が安定しないために、ベルト等によって拘束せざるを得なかった方々にも安心して車椅子に乗せることができる。

また、将来に脊柱が側湾する危険性を持つ方々にも、側湾の予防の一つとして意味をもつ形状である。

【課題を解決するための手段】

車椅子の背もたれのパイプ形状を、車椅子使用対象者の体幹の側面を通る特殊な形状とする。

【発明の実施の形態】

車椅子の背もたれのパイプをパイプバンド等により車椅子使用対象者に適合した形に曲げる。

【実施例】

【発明の詳細な説明】

【図面の簡単な説明】

【図 1】車椅子の側面図である。

【図 2】車椅子の背面のパイプ形状が、人間の腰椎の前湾に対していかに効果を与えるかを表す図である。

【図 3】車椅子の左側面図における人の手を省いた図である。

【図 4】車椅子の左側面図における人の手と車輪を省いた図である

【図 5】車椅子の右側面図における人の手と車輪を省いた図である。

【図 6】車椅子の正面図である。

【図 7】車椅子の背面図である。

【図 8】車椅子の平面図である。

【図 9】車椅子の背もたれのパイプの底面図である。